

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年2月29日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103300
法人名	有限会社 ピースアンドハーモニー
事業所名	グループホーム ローズガーデン
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田二丁目34番15号 (電話) 099-213-0033
自己評価作成日	令和2年1月10日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年2月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームローズガーデンは、「ホーム」という概念を常に意識し、運営している。開設より17年経過しており、培ってきた経験に基づいた認知症ケアの実践を行えている。
母体が医療機関である事で、24時間医療連携体制が整っており、訪問診療や緊急時、夜間の体制がスムーズに行えている。
事業所が住宅街にあり、町内会活動が活発である事で、地域密着型の理念に沿った施設運営が出来ている。

- 当事業所は、4階建ビルの2階・3階にある。桜島と錦江湾を望み周辺は住宅地で交通の便も良い。近くに公園があり利用者の散歩コースになっている。
- 町内会に加入し、役員を引き受けるなど地域に協力している。地域のお祭りや運動会に参加したり、ホームの行事にはボランティアや地域住民の参加がある。高校生の実習も引き受けたりしている。交流室を地域に開放しあいご会や各種会合に活用している。
- 母体医療機関と24時間医療連携体制が整っている。訪問診療や緊急時の対応が本人・家族の安心につながっている。
- 運営推進会議は、看取りや身体拘束の議題等を提起して、意見交換が活発で充実した会になっている。
- 職員は資格取得や研修会参加を積極的に取組みスキルアップを図っている。
- 管理者や職員は、家族とのコミュニケーションを大切にして意見等は運営に反映させている。介護相談員の受入れをしている。
- ホームは、わが家のような安らぎのあるその人らしい暮らしができるよう心がけている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	提供しているサービスが理念に沿ったサービスであるか確認し、実践している。	職員で考えた理念で事務所・エレベーターに掲示している。毎日、申し送り時に唱和している。ミーティング時や日常の支援の中で振り返り確認してケアの実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	外出支援により地域社会での買い物・散策等を行い、地域との繋がりを感じながら生活ができるように支援している。	町内会に加入し役員を引き受けたり、総会に参加して地域の情報を得たり、地域行事の祭りや運動会・防災の研修に出席している。ホーム行事の芋ほり等に地域ボランティアの参加がある。地域から野菜の差し入れや交流室を外部に開放して地域と日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域に向けての認知症センターの方の受け入れを行っている。また勉強会や各種会合などで認知症をテーマにした話をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2か月に1度行い、毎回活動報告をするとともに、様々な取り組みについて意見交換を行い、サービスの向上に努めている。	定期的に開催している。毎回、議題提起があり、年度の目標・事業所の現状報告を行い、意見や質問が多く出されるグループホームの食事・看取り介護・身体拘束等についての意見交換をして、サービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議を活用し、意見交換を行ったりアドバイスをいただいている。	運営推進会議に参加があり、地域包括支援センターとの連携もとれ介護保険の申請やホームの運営情報など報告し、相談や助言を得ている。福祉事務所との連携もとれている。行政主催の研修会に参加して協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員全体で身体拘束の禁止、高齢者虐待防止法等の理解の為に定期的に話し合い、拘束しないケアに取り組んでいる。法人内に委員会を設置し研修を行っている。	法人内で身体拘束委員会を3ヶ月毎に開催している。マニュアルを基に勉強会を実施している。玄関の鍵は建物の構造上、安全性を考慮して、家族にも了解を得て施錠している。外出希望の時は、屋上で懇談したり、散歩して落ち着くまで寄り添って、身体を拘束しないケアに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	勉強会で繰り返し理解を深めるようにしている。特にスピーチロックに関しては職員間で注意し合い回避している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、各制度の支援を必要としている該当者はいないが、ニーズに備えて研修を実施し、理解を深める機会を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	利用者及び家族との面会を行い、書面を利用し十分な説明と契約を行っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営推進会議時、介護支援計画の説明等や家族訪問時に意見や要望を伺い、運営に反映させていている。	利用者からは日常の会話や表情から思いを把握している。家族からは、面会の時や電話で意見や要望を聞いている。家族から「面会の時、職員の名前が分かららない」との要望に、職員の名前と写真を掲示し、運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	定期的な会議での職員の意見や提案を聞き、報告・連絡・相談を密にするようにしている。	日常の関わりの中で管理者やリーダーが声かけして、必要時は個別で懇談している。職員の意見で「清拭時のタオルは絞つて欲しい。温めて欲しい」等の意見を支援に活かしている。	
12		<p>○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	職員の資格取得・労働環境の改善等に努め、士気を上げるような取り組みを行っている。		
13		<p>○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	外部研修参加の機会を設けて、意見交換や介護技術の向上を目指している。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	研修や交流会などに積極的に参加するように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス提供前の家族からの聞き取り、介護サービス事業者との情報交換により本人が安心出来るような支援を行っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス契約時に家族の困っていること、不安なことを伺い、安心してサービス利用ができるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族のお話を伺い、課題や支援方法等の検討を本人・家族と行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活の中で、食事作り・洗濯・掃除などをできるだけ一緒にを行い、家族に近い立場で接することに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日頃から何でも話しやすい雰囲気作りを心掛けるとともに、年間行事への参加をお願いし、利用者・家族・職員の信頼関係が築けるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族・親族・友人など、可能な限り面会&対応を実施している。	家族や知人が面会に来ている。理・美容室は職員が同行したり、家族が連れて行く時もある。家族とは外食や墓参り・自宅訪問等に出かけている。正月の外泊や電話・年賀状の支援も行っている。馴染みの関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤独感がなくレクや家事を通して関わり合えるように関係作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて適切な医療・福祉機関を紹介している。情報の提供・家族との話し合いを行い、安心してサービスが利用できるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	日々の関わりの中で、ご本人の希望・思いを傾聴しその情報をスタッフ間で共有しケアに役立てている。	思いや意向は日常の関わりの中で把握している。言葉を発しない利用者も、何かを発する時もあり、タイミングを見て聞いたり、入浴時や散歩の時、夜勤時に懇談している。サービス事業所からの情報もあり、職員で共有して対応している。	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	入所時に生活歴などを家族から聞き、日々の関わりの中で「言動」から移行の把握に努めている。出来るだけ馴染みの暮らし方ができるように努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	生活リズムや本人の出来ることなどを考慮し、家事や作業の分配を工夫している。疾病については病院との連携を取り把握している。		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	月1回、カンファレンスを全職員で行い、入所者のケアの内容について、家族の意見や本人の要望を組み入れ、情報交換&検討している。	カンファレンス時の情報や申し送りの報告を参考に、家族の意向を把握し、本人・家族・管理者・職員で担当者会議を開き、主治医の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングは毎月行い、状況が変化したらその都度、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	本人の詳しい言動やそれに対しての職員の対応を個別記録にし、朝・夕の申し送りで活用し、カンファレンスや介護計画に役立てている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の個別性を重視し買い物や外出等の支援を行ったり、諸手続きの代行をしたり、サービスの多様化に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の消防署や警察等と連携している。また、民生委員や町内会の方々に協力して頂き、ボランティア活動の受け入れを行っている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	必要に応じて、主治医が定期的に家族に疾病について説明している。また、状態により他専門医を紹介している。	かかりつけ医は、本人・家族の希望で協力医療機関が主治医になっている。訪問診療が月2回訪問看護は外来の看護師が来て いる。母体が医療機関で24時間医療連携体制が整っている。歯科は訪問である。定期的に薬剤師の訪問がある。他科受診は家族の協力で行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとられた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	体調確認・表情の変化等により普段と異なる健康状態があれば、看護師に伝え、適切な処置・受診等を行っている。		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	介護情報の提供・定期的な面会により病院との情報共有に努めている。		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入所時に重度化した場合や終末期のあり方について説明を行い、共有の認識を持ち支援に取り組んでいる。	重度化や終末期に向けた指針があり、入居時に本人・家族に説明し同意書を貰っている。状況が変化する中で主治医・管理者が立ち合い方向性を話し合っている。母体が医療機関であることも含め、家族の意向を確認し対応している。看取りも視野に入れながら、支援に取り組んでいる。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	勉強会で定期的に訓練を行っている。また、マニュアルを作成し掲示している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の指導の下に、様々な想定の元に年2回避難訓練を行っている。その時に消火器の使い方や避難経路・災害時のストック食品について確認している。地域の方々にも協力して頂き、参加して頂いている。	年2回、夜間想定で消防署立ち合いの下、避難訓練を行っている。避難経路・避難場所・緊急通報装置の点検や消火器の使い方等、指導を受けている。1回は地域の協力がある。備蓄は米・水・カレーライス・缶詰等を備蓄している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	年長者として敬意を払い、プライドやプライバシーを損ねる言動に注意し、サービスを提供している。	法人と合同で研修会を実施している。言葉遣いに配慮し、名前はさんづけで呼んでいる。排泄や入浴介助は同性で、声の大きさにも配慮している。職員の申し送りは事務所の中で行い、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を行っている。	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	本人の状態に合わせて質問の仕方や働きかけを工夫している。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	出来るだけ希望に添えるよう必要などを訊いている。日常生活のリズムも本人のペースに合わせている。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	身だしなみに気を付け、思うよう出来ない方にはお手伝いしている。好みを理解し衣類の選択等に役立てている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	お盆ふきやお箸並べ、盛り付けなど手伝っていただき役割の分担を行っている。	献立は職員で話し合って作成している。嗜好や形態に配慮して、個々に合わせてミキサー食・ろみ食・アレルギー把握・代替え食に対応している。食事を楽しみなものになるよう誕生日には好きな物やケーキを付けたり、回転寿司・ラーメン・外食に同伴することもある。盆拭きや味付け等、食事の準備を一緒にしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分摂取量を記録し、食べる量や栄養バランスを確認している。また、好みにより食材の変更・形状の変更を行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食事後は口腔ケアを行い、チェックをしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンを把握し失敗がないように声掛けを行っている。	排泄チェック表を活用して、パターンを把握し表情や仕草からトイレでの排泄の声かけをしている。夜間はポータブルトイレ使用者もいる。便秘予防に食事や水分補給に気配りして自然排便ができるように取り組んでいる。排泄用品の選択も個々に合わせて支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳・ヨーグルト・果物を摂って頂いている。排便困難な方はホットパックや下腹部マッサージを行い、下剤の使用を減らしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調や精神状態によって、タイミングを見て入浴日や時間帯を変更している。	週2回入浴している。シャワー浴にも対応している。体調や気分に配慮して柔軟に行っている。入浴剤を使用している。入浴を嫌がる場合は介助者を変えたり、時間をずらしたり、声かけを工夫して支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	前日の睡眠状況を把握し、休息時間などを考慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服の目的や副作用など理解に努めている。確実に服薬して頂き、状態変化等があれば報告している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の準備や後片づけ・洗濯・縫物など個人の得意分野を生かし、役割を持つてもらえる様支援を行っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	気候が穏やかな日は戸外に出て散歩や買い物などを楽しんでいる。春・秋に家族の方の参加を募り、ドライブを兼ねた外出支援を行っている。	その日の希望にそって外気浴や近くの公園を散歩している。年間計画を立てて季節毎の花見・買い物・美容室、家族の協力で墓参り・ドライブ・法事・外食等に出かけて気分転換している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金はスタッフが預かっており希望があればいつでも使える様に管理している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	月に一度、家族へのお便りを出している。また、ご本人の要望時には電話をかけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族に合った壁飾りや小物を設置したり、日向ぼっこができるスペースを作ったり、花を生けたりと明るい雰囲気作りに努めている。また、音楽や照明は利用者の意向に沿って調整している。	季節の花を飾り室温・湿度・換気に気配りがある。加湿器があり、ソファでゆっくり寛げ採光も柔らかい。ひな人形や季節感のある飾り付けで、明るい雰囲気である。居心地よく過ごせるように工夫のある空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間も広く、十分な居場所が確保されている。ソファーに座り一緒にテレビを観たり会話を楽しんだり・・・雰囲気を酌む工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使い慣れた物や好みのものを近くに置いて、居心地よく生活ができるように配慮している。	介護ベッド・洗面台・物入れ・エアコン・タンスが設置している。家から持ち込まれたぬいぐるみ・時計・寝具・仏壇・遺影等が置かれて、居室は落ち着く居場所で、居心地よく過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全に生活出来るように、ローラーに手すりを設置したり、トイレには目じるしをつけたりして環境整備に努めている。		

V アウトカム項目

			1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目: 49)		2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目: 30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目: 28)		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目: 9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		<input type="radio"/>	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
			2 数日に 1 回程度ある
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しづつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		<input type="radio"/>	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない